

## UMass 滞在を終えて

理学系研究科化学専攻 博士課程1年 辻 優依

2019年8月31日～11月2日の間、アメリカ・マサチューセッツ州にある The University of Massachusetts, Amherst 校の Muthukumar 教授のグループに2ヶ月間滞在した。電荷を持つ電解質ゲルでは、複数のイオンの共存した溶液下で体積相転移を起こすことが確認されている。この現象に対して、動的光散乱測定によって、熱力学的な観点からそのメカニズムを調査することを目的として研究を行った。

滞在中は専攻のセミナーなどにも参加し、アメリカの大学院での研究生活とはどのようなものかを学べ、良い刺激となった。また、私生活ではなれないアメリカ生活で困難もあったが、多くの人々に助けられ、非常に充実した日々を送れた。自らも、そのような場面に直面した時に、迷わずに手を差し伸べられるような人間でありたいと強く思った。

今回の滞在は物性研究所の海外派遣支援プログラムよりご支援いただいた。また、滞在を快諾してくださった Muthukumar 教授および、滞在中に支えてくれた Muthukumar グループのメンバー、また、滞在を許可していただいた柴山教授にこの場を借りて御礼申し上げます。



University of Massachusetts Amherst 校のキャンパスの様子